

DI NEWS

今月の医薬品情報

令和7年7月15日 No.356

目次

- | | | |
|-----------------------------|-----|---|
| ◆ 薬剤部からのお知らせ | ・・・ | 1 |
| ◆ 今号の話題 生食2ポート内部すきまと注射粉末こぼれ | ・・・ | 3 |
| ◆ 薬剤部への問い合わせから | ・・・ | 5 |



ケジギタリスの花。ジゴキシンを含み、昔は生薬として利用された。

(引用元：東京生薬協会 web サイトより)

薬剤部からのお知らせ

◇ 要時購入医薬品の状況

採用薬や取り寄せ依頼のある医薬品でも下記の薬品は使用頻度が低い等の理由から
院内には在庫がなく、要時購入となっています。
必要な場合は、早めに薬剤部までご連絡ください。

< 内用薬 >

ゼフィックス錠 100	ゾーミック RM 錠 2.5mg	トフラニール錠 25mg
パーオデル錠 2.5mg	ビ・シフロール錠 0.5mg	
プレマリン錠 0.625mg	ブロモバレリル尿素「ヨシダ」	ペルマックス錠 250μg
メスチノン錠 60mg	メタルカプターゼカプセル 100mg	
ユーエフティ配合カプセル	ユーエフティ E 配合顆粒 T100	

< 外用薬 >

サイプレジン 1%点眼液	スコピゾル眼科用液	
ニコチネル TTS10	ニコチネル TTS20	ニコチネル TTS30
ネオシネジンコーワ 5%点眼液	ネリゾナソリューション 0.1%	
ブリピナ液 0.05%	ホスミシン S 耳科用 3%	ロゼックスゲル 0.75%

< 注射薬 >

動注用アイエーコール 50mg	アキネトン注射液 5 mg	
アルギニン点滴静注 300ml「A Y」	ウロミテキサン注 400 mg	
H C G モチダ筋注用 5 千単位	エトキシスクレロール 1%注射液	
エポシン皮下注シリンジ 24000	コートロシン注射用 0.25mg	
ジェノトロピン TC 注用 5.3mg	スプレキュア MP 皮下注用 1.8	
スミフェロン注 D S 300 万 IU	ナベルピン注 10	ナベルピン注 40
ピシバニール注射用 0.2KE	ピシバニール注射用 0.5KE	
ヒト C R H 静注用 100μg「タバ」	ヒト P T H 注 100 国際単位	
ブレオ注射用 15mg	ボトックス注用 50 単位	
ポリドカスクレロール 1%注 2mL	ポリドカスクレロール 3%注 2mL	
ミリプラ動注用 70mg		

< 検査用造影剤 >

E O B ・プリモビスト注シリンジ	E O B ・プリモビスト注シリンジ	
イソビスト注 2 4 0	イソビスト注 3 0 0	ネオダルムゾル
バリコンミール	バリトップ H D	ボースデル内用液 10
マグネスコープ静注 38%シリンジ 13mL	マグネスコープ静注 38%シリンジ 20mL	

＜ ワクチン・抗毒素・トキシイド ＞

乾燥弱毒生麻しんワクチン

トリビック(三種混合、沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合)

* 上記薬品の他に、院外でのみ処方可能な院外採用薬も基本的には院内に在庫がありません。

* レグテクト錠 333mg、エストラナテープ 0.72mg、注射用メソトレキセート 50mg、ランマーク皮下注 120mg、トブラシン注 60mg、ゾラデックス LA10.8mg デポ、イムノブラダー膀胱注用 80mg (は要時購入ですが、希望が多いので実際は在庫があることが多くなっています。

◇ 各種業務件数の状況

● 外来・入院薬剤鑑別件数

	入院予約、外来、入院の合計
2025 年 4 月	1 ヶ月合計 : 404 件
2025 年 5 月	1 ヶ月合計 : 499 件

● 入院患者薬剤管理指導請求件数

	薬剤管理指導請求件数	退院指導請求件数
2025 年 4 月	932 件	406 件
2025 年 5 月	945 件	412 件

● 注射薬無菌調製件数・抗がん剤調製件数（外来・入院）・膀胱注調製件数

	抗がん剤調製(外来&入院)、膀胱注(泌尿科)の合計	無菌調製
2025 年 4 月	123 件	8 件
2025 年 5 月	119 件	8 件

※中心静脈栄養輸液等の投与においてワンバック製剤以外の混注の必要があるものは、薬剤部において無菌調製しています。なお、オーダーは前日午前中までをお願いします。

● 外来指導 :

2025 年 4 月 6 件、5 月 6 件

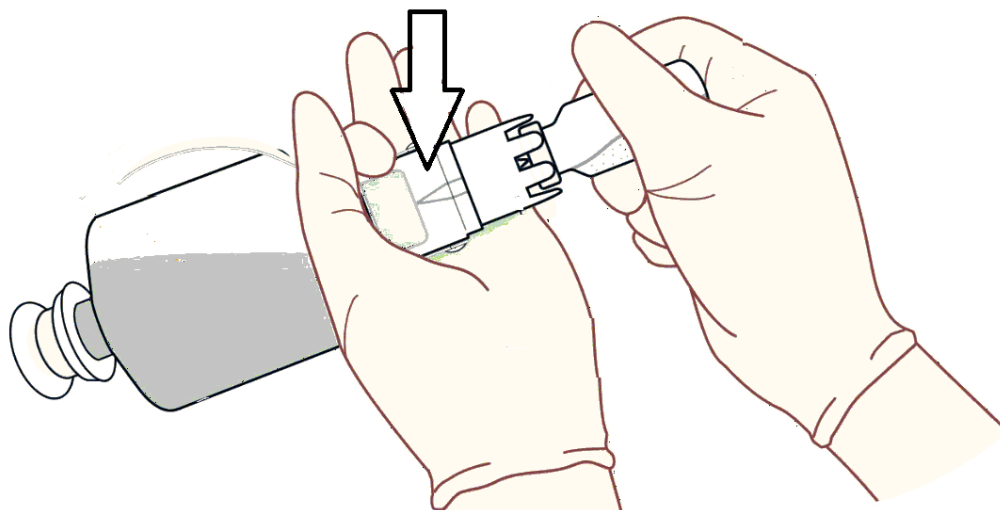
今号の話題

生食 2 ポート内部すきまと注射粉末こぼれ

<はじめに>

生食 2 ポートで注射剤を溶解する場合に生食 2 ポート内部のすきまに注射剤粉末がこぼれることがあります。

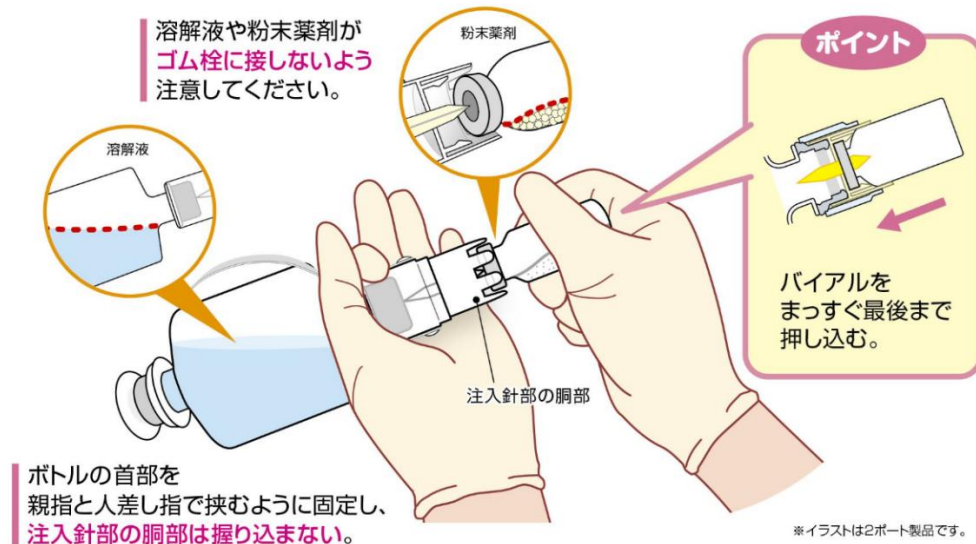
下図はまだ注射剤のゴム栓にも、生食側のゴム栓にも 2 ポートの管が刺さっていない状態ですが、これから注射剤の瓶のゴム栓に 2 ポートのとがった管を刺していくと、2 ポート内部のすきま（矢印の先のところ）に注射剤の粉がこぼれるということです。この隙間は 2 ポートの容器の内部にありますが、生食とはゴム栓で隔てられているので、ここにこぼれた薬剤は生食に溶かされないで終わってしまいます。



今回「セフトリアキソン静注 1g「NP」でこぼれが発生した」との相談がありましたので、生食 2 ポートのメーカー(大塚製薬工場)に問い合わせました。

<メーカーの返答>

「生食 2 ポートとセフトリアキソン静注 1g「NP」の組み合わせについては適切に操作を行えば問題がないことを実際に試して確認しています。ただし、一般的にセフトリアキソン静注の粉末はさらさらしていて流動性が高いのでどの屋号のセフトリアキソン静注でも手技中にこぼれやすいことは考えられます。こぼれないための対策として、生食 2 ポートの web サイトや容器、添付文書などに持ち方のイラストが描かれているので、注射剤の瓶のゴム栓に 2 ポートのとがった管を刺す時はイラストのように 2 ポートを斜めになるように持ち、手際よく作業して下さい(管を刺す時は 2 ポートを垂直に立てた状態で行ってはいけません)。」とのことです。次ページに生食 2 ポートの web サイトのイラストを引用しました。



<生食 2 ポート内部のすきまに注射剤粉末がこぼれないための対策>

注射剤のゴム栓に生食 2 ポートのとがったストロー状の管を刺す時は、上のイラストのように注射剤と生食 2 ポートを斜めになるように持ちます。

イラストの状態から作業を進めると、まず管が粉末注射剤の瓶のゴム栓を突き破って、生食側のゴム栓は貫通していない状態になることが多くあります。この状態では注射剤の瓶の内部と生食 2 ポート内部のすきまがストロー状の管でつながっています。注射剤粉末が生食 2 ポート内部のすきまにこぼれる可能性があるのはこの時です。そこで、上のイラストの様にすると、イラストの中央上部にある円の中のように、注射剤がゴム栓より低いところにくるようにできるので管がゴム栓を貫通しても注射剤が管の中を通ることはありません。

この後さらに作業を進めると、ストロー状の管が生食側のゴム栓も貫通し、注射剤の瓶内部と生食 2 ポートの溶液部につながります。これ以降は注射剤の粉末が内部すきまにこぼれることはなくなります。

なお、ストロー状の管を生食側のゴム栓に刺す時は上のイラストの左側にある円の中に描かれたように生食溶液がゴム栓より下になるようにすることで無用のトラブルを防止できます。

添付文書には上記操作も含めた一連の操作が図解されていますのでそちらも参考にしてください。

以上、セフトリアキソンに限らず、さらさらした粉末の注射剤を生食 2 ポートで溶解する場合には同様に注射剤の粉末がこぼれる可能性がありますのでご注意ください。

薬剤部への問い合わせから

Q:半夏瀉心湯と五苓散を服用している患者に人参養栄湯を併用してよいのか？	A:メーカーによれば「併用可能です。ただし、漢方の併用で注意すべきとされる4成分（カンゾウ、マオウ、ダイオウ、ブシ）の中で、本ケースではカンゾウが重複しています。半夏瀉心湯と人参養栄湯の両者にカンゾウが含まれているので、低カリウム血症の可能性に注意してください。」とのこと。 (問合せ先：ツムラ)
Q:リセドロン酸とミネドロン酸はどちらがよいといったガイドライン等の情報はあるか？	A:メーカーによると「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版158ページに記載があり、リセドロン酸の方がミネドロン酸より有効とされる項目が多い。」とのこと。 (問合せ先：エーザイ)
Q:アズノールうがい液5mLは1本で何日もつか？患者は、1回7滴で1日3回使っている。	A: 本件では10日から11日程度。 アズノールうがい液5mL 1本分の全力価は200mgある。1回で使用する7滴は6mg力価に相当するとして、1日3回で18mg力価を使っていることになる。1本分の力価を1日分の力価で割り算すると$200/18=11.1$日となる。 使用中に少々ロスがあったとしても1本で10日くらいはもつと考えられる。 (問合せ先：日本新薬)
Q: COPD でスピリーバの吸入用カプセル 18μg 1日1回1吸入している場合、これをスピリーバレスピマットに換算するとどのくらいの用量になるか？	A:メーカーによると「スピリーバの吸入用カプセル 18μg 1日1回1吸入とスピリーバ 2.5μg レスピマット 60吸入 1日1回2吸入 (1日5μg) とが同等。レスピマットの方がミスト状の粒子が細かいので効率がよいため少ない量でよい」とのこと (問合せ先：ベーリンガーインゲルハイム)
Q:モビプレップはお湯で飲んでもよいのか？	A:メーカーによると「モビプレップを溶かすのはぬるま湯でもよい。服用の間に飲むものもぬるま湯でもよい。ただ熱湯では承認外用法となるので、あまり熱いお湯は使わないで下さい。」とのこと。 (問合せ先：EA ファーマ)

Q:レクタブル 2mg 注腸フォーム 14 回 48mg について、使用後なのに缶の中に薬剤がかなり残っている。正しく使った場合、本剤の中身はどのくらい残るか？	A:メーカーによると「1 缶には 30.8g 入っている。一方、正しく使った場合の使用量は、1 回分が 1.3g。当たりの全使用分は、一缶で 14 回使うので $1.3 \times 14 = 18.2\text{g}$。したがって一缶当たり最終的に 12.6g 残る」とのこと。以上より、正しく使った場合は使用前の薬剤量の 41%が余って廃棄されることになる。 (問合せ先：EA ファーマ)
Q:ソランタールはインフルエンザの時に使えるか？ライ症候群のおそれはないか？	A: メーカーによると「ソランタール錠の添付文書上にインフルエンザやライ症候群についての記載は無く、インフルエンザ患者でも使うことはできます。これは同じ NSAIDS でもボルタレンやアスピリンではインフルエンザに対して使用制限のあることと異なる点です。ただし、インフルエンザ患者に対してはアセトアミノフェンが勧められておりソランタールは推奨されてはいません。なお、ソランタールに解熱の効能はないので、使うとしたら上気道炎の鎮痛で使うことになります。」とのこと (問合せ先：LTL ファーマ)
Q:ホリゾン注 10mg の半分を投与した患者について、車を運転できるほど薬剤の影響がなくなるのは投与してからどのくらいの期間たった後か？	A:メーカーによると「本剤は半減期が 9 時間から 4 日と長い上に個人差が大きく、明確な基準がありません。人によって 4 日後でも危ないこともありうるので、ケースバイケースで判断してください。」とのこと。 (問合せ先：丸石製薬)